

老人保健と子どもの健全育成活動

宮 島 嘉 道¹⁾，田 口 カ チ¹⁾

要約：秋田県では、新しい考え方に基づいて福祉施設の総合化・複合化を図っている。これらの福祉施設（エリア）において、高齢者と子どもの交流がどの程度に実施されているかを探り、問題点を明らかにした。問題点が高齢者の側により多く見い出せた傾向にあった。

今後、関係者の協議等により世代間交流を効果的に図ることが確認された。

見出し語：エリア、世代間交流

研究方法：現在、実際に施行されている小児と高齢者の共同事業を保育所・秋田県南部老人福祉総合エリア（以下エリアという）等関係機関へインタビューする形式で調査した。

結果：表に示す通り。

考察：近年、社会背景の変化に伴い、福祉ニーズが質的にも量的にも大きく変化してきている。

社会変化の一つは、高齢者の増加であり、秋田県では全国を上回るスピードで進行している。また、人口の高齢化に伴い様々な問題も出現し

ている。いま一つは、家庭や地域社会の変貌に伴う問題であり、更には高齢者の知識を若年層に伝承する機会や技能を活用する場が極めて少なく、世代間交流が困難である例が多いことが挙げられる。高齢者が地域から隔離されることなく、近隣住民と接しながら、豊富な知識や経験を社会に還元するとともに、医療面も保障され、生きがいと安らぎのある生活がおくられるように新しい時代に対応した総合的・複合的な機能を持った福祉ゾーンを設け、これからの福祉社会にふさわしい医療福祉サービスを提供する施設をはじめ、地域の人々の生きがいや交流

¹⁾ 秋田県横手保健所（Yokote Public Health Center, Akita Pref）

施設等を体系的に整備することを目指して計画されたものがエリアである。

エリアの施設は、目的別に大別して居住施設在宅福祉のための施設・世代間の心の交流を目的としたふれあい施設の3つになる。

今回、世代間の交流がどの程度実施されているか調査したが、この実施状況を回数が多いとみるか、少ないとみるか意見が分かれるのではない。この状況は、昭和63年7月のエリア開設以降ほぼ同じである。

今後の課題としては、エリアに居住する高齢者がエリアの立地地域で生活した人が少なく、地域の伝承遊びなどを地域の子どものに伝えられない、一人暮らしの老人が多く、消極的な性格になっているなどが挙げられる。

また、老人と子どものふれあいセンターが平成2年4月に開設予定であり、語らいの部屋・絵本の部屋・工作の部屋・ふれあいホームが設けられる。この施設の活用方法に関しても手探りの状態であり、今後関係者の協議等により、より良い方向を探ることとしている。

文献：老人福祉総合エリア建設基本計画

秋田県 昭和60年2月

表1

平成元年度 幼稚園関係・小中学校白寿園ボランティア活動実績

月 日	学校・幼稚園名	参加人数	内 容
5.17	大森小学校	32名	唱歌、楽器演奏 園外の清掃
6.7	川西小学校	37	入所者あての手紙を書いたおたより訪問
6.14	坂部保育所 前田保育所	31	6月誕生会においてのうた・おゆうぎ等の実施
10.11	川西保育所	44	10月誕生会においてのうた・おゆうぎ等の実施
10.18	白山小学校	60	歌、楽器演奏 作文発表
11.5	大森保育園	26	11月誕生会においてのうた・おゆうぎ等の実施
12.6	大森中学校	40	吹奏楽部による演奏と生徒会による歌や激励の言葉
12.13	白山保育所	36	12月誕生会においてのうた・おゆうぎ等の実施
2.14	保呂羽小学校	35	作文発表 歌、楽器演奏 入所者への肩たたき

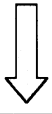
注) 白寿園は特別養護老人ホームであり、エリアの居住施設の一つ

表2

平成元年度の実施事業

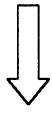
期日	事業名	事業内容	場所	参加人数
6/7	さつまいも植え	エリアの生きがい農園にお年寄りの人達に教えてもらいながら、さつまいもの苗を植え、収穫の時期楽しみに待つ	総合エリア 生きがい農園	子供 67 老人 36
7/31	子ども夏まつり	総合運動公園内にいろんなコーナーを設け、お年寄りの人達や子供達が一緒になってイベントに挑戦して楽しく一日を過ごす。	総合運動 公園内	子供 3,500 老人
10/14	さつまいも 収穫祭 やきいも大会	自分達で植えたさつまいもを収穫しその喜びを味わうとともに、焼きいも大会をしてお年寄りとお年寄りとお年寄りと楽しいひとときを過ごす。	総合エリア 生きがい農園	子供 160 老人
12/23	クリスマス会	いつもめんどろをにかけているお年寄りの人達にありがとうの気持ちをもってクリスマス会を楽しむ。映画を見たり、一緒に歌をうたったりして楽しむ。	大森町コミュニティ センター	子供 285 老人
3/末 予定	ゲートボール 教室	ゲートボールを指導してもらい、ふれあいの場をもつ。	総合エリア ゲートボール場	

(役場町民福祉課とエリアの協同計画)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:秋田県では、新しい考え方に基づいて福祉施設の総合化・複合化を図っている。これらの福祉施設(エリア)において、高齢者と子どもの交流がどの程度に実施されているかを探り、問題点を明らかにした。問題点が高齢者の側により多く見い出せた傾向にあった。今後、関係者の協議等により世代間交流を効果的に図ることが確認された。